

# フィンランド語文法：入門⑨ 属格・-i, -e, -nenで終わる語

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



# 名詞の格変化

- 名詞にいろいろな印をつけて変化させる。  
それぞれの形を「格」と呼び、その印を  
「格語尾」と呼ぶ。

metsä 森

metsä**ssä** 森の中で/に

metsä**n** 森の

metsä**stä** 森の中から

metsä**ä** 森を

metsä**än** 森の中へ

metsä**t** 森（複数）



# 属格

- 名詞のもとの形を「主格」と呼ぶ。
- 属格とは「...の」という意味を表す形（英語の「所有格」に相当）。
- 属格の語尾は -n の1文字。

talo 家

talon 家の

kylä 村

kylän 村の

kissa ネコ

kissan ネコの

lehmä 乳牛

lehmän 乳牛の



# 属格—練習①

●属格にしてみる。

koira	犬
poro	トナカイ
tiikeri	トラ
leijona	ライオン
kirahvi	キリン

panda	パンダ
kenguru	カンガルー
kana	鶏
aasi	ロバ
papukaija	オウム



# 属格—練習①解答

●属格にしてみる。

koira     **koiran**

poro     **poron**

tiikeri     **tiikerin**

leijona     **leijonan**

kirahvi     **kirahvin**

panda     **pandan**

kenguru     **kengurun**

kana     **kanan**

aasi     **aasin**

papukaija     **papukaijan**



# 注意すべき名詞のタイプ（１）

●格語尾をつけるときに、音の変化が起こる名詞のタイプがある。

● -i で終わる語には2種類ある。

① -i が変化しない語。

tuoli「椅子」 > tuolin「椅子の」

② -i が -e- に変化する語。

järvi「湖」 > järven「湖の」

それぞれの単語が①なのか②なのかは覚えるしかない。ただし、比較的新しい外来語は①のタイプ。



# フィンランド語と外来語

- 外来語は i で終わることが多い。

lasi 「グラス、ガラス」      kumi 「ゴム、ガム」

kahvi 「コーヒー」      tuoli 「椅子」

bussi 「バス」      filmi 「フィルム」

- 語頭の子音は最後の1つだけ残る。

lasi 「グラス、ガラス」      koulu 「学校」

Ranska 「フランス」



# 語頭に子音が並ぶのを避ける方法

- 日本語（子音と子音の間に母音を入れる）

スクール [sukuuru]

- フィンランド語（頭の子音を取る）

koulu

- ハンガリー語（頭に母音をつける）

iskola





# 注意すべき名詞のタイプ (2)

- -e で終わる語は、語尾をつけるとき -ee- に変わるのが原則（例外はほんの少し）。

huone<sup>e</sup>「部屋」 > huone<sup>ee</sup>n「部屋の」

- -nen で終わる語は、語尾をつけるときに -se- に変わる。

lautanen<sup>n</sup>「皿」 > lautas<sup>se</sup>n「皿の」

- 語尾をつける形を「語幹」と呼ぶ。



# 子音で終わる語の変化

- 原則として格語尾は母音の後ろにつけなければならない。そのため、もともと子音で終わる語に格語尾をつけるときには -i- という音を橋渡しとして使う。

Tom 「トム」 > Tom*i*n 「トムの」

Boston 「ボストン」 > Boston*i*n 「ボストンの」



# 属格—練習②

●属格にしてみる。

lasi	グラス、ガラス	lumi	雪
nimi	名前	kahvi	コーヒー
kone	機械	perhe	家族
nainen	女	suomalainen	フィンランド人
laine	波	aihe	話題



# 属格—練習②解答

●属格にしてみる。

lasi	<b>lasin</b>	lumi	<b>lumen</b>
nimi	<b>nimen</b>	kahvi	<b>kahvin</b>
kone	<b>koneen</b>	perhe	<b>perheen</b>
nainen	<b>naisen</b>	suomalainen	<b>suomalaisen</b>
laine	<b>laineen</b>	aihe	<b>aiheen</b>



# kuka 「誰」 と mikä 「何」 の属格

- 疑問詞である kuka 「誰」 と mikä 「何」という語は例外的な変化をするので覚える。

kuka 「誰」 > **kenen** 「誰の」

mikä 「何」 > **minkä** 「何の」



# 格の一致

- 名詞に語尾をつけるときには、その名詞を修飾している形容詞なども同じように変化させる。

iso koira 「大きな犬」 > ison koiran 「大きな犬の」

pieni huone 「小さな部屋」 > pieneen huoneeseen

「小さな部屋の」

tämä nainen 「この女性」 > tämän naisen

「この女性の」



# 属格—練習③

●属格にしてみる。

(Mikä maa) pääkaupunki on Oslo?

オスロはどの国の首都か。

(Kuka) kissa tuo on? あれは誰の猫か。

Se on (tuo nainen) kissa. それはあの女性の猫だ。

Mikä on (iso koira) nimi? その大きな犬の名前は何か。

Kuka on (valkoinen tietokone )omistaja?

その白いコンピュータの所有者は誰か。



# 属格—練習③解答

●属格にしてみる。

(**Minkä maan**) pääkaupunki on Oslo?

オスロはどの国の首都か。

(**Kenen**) kissa tuo on? あれは誰の猫か。

Se on (**tuon naisen**) kissa. それはあの女性の猫だ。

Mikä on (**ison koiran**) nimi? その大きな犬の名前は何か。

Kuka on (**valkoisen tietokoneen**) omistaja?

その白いコンピュータの所有者は誰か。

